

日中友好協会岡山支部

あかやま

題字 菅原田 親

No. 545

2008/7/5


日中友好協会  
岡山支部

〒704-8255  
岡山府武3-8-30-513  
TEL:086-272-3010  
郵便振替口座  
01250-0-3835  
http://rzhong.jp/index.html

日中友好新聞

発行所  
日本中国友好協会  
〒111-0054 東京都千代田区  
有明1-1-1 東京有明ビル5階

日中友好協会岡山支部ホームページ  
http://rzhong.web.infoseek.co.jp  
メールアドレス  
rzhong86@hotmail.co.jp



## 日中友好協会岡山支部

# 2008年度総会報告

### 「ふたつの国をつなぐ心の橋をつくりましょう」

日中友好協会岡山支部は去る6月15日(日)岡山医療生協コムコムホールにおいて、2008年度総会を行いました。会員・来賓など25名が参加しました。

まず、宇野支部長が全国大会参加の報告を踏まえて「日中不再戦」の旗を掲げて地道に活動している事が「平和的生存権」をはじめ認めたイラク訴訟の判決を勝ち取ることができた事などを中心に挨拶されました。

本部や友好団体のメッセージ紹介の後、中国残留孤児訴訟



あいさつをする宇野武夫支部長

岡山原告団団長の高杉さんから新支援法が成立され大変喜んでおります。4月から給付金制度が実施され、6月13日には65才以上の孤児に4・5月分の年金が支給されました。

孤児訴訟の4年前、弁護士先生は一生懸命頑張つて下さいました。日中友好協会岡山支部の皆様には、2003年残留孤児資料展から孤児訴訟、日本語教室等熱心なご支援を頂きまして本当にありがとうございます。今後とも引き続き宜しくお願いします。」と孤児訴訟の報告とお礼のことがありました。

そして、「文化講座」料理教室「太極拳」ぎりえの会「中国語」日中おかやまホーム「ベジ」等、多彩な活動の様子がそれぞれの担当理事から報告がありました。

来年度の役員は支部長宇野武夫さん、理事長竹内和夫さん、副理事真田紀子さん、事務局長小林軍治さん、をはじめ新人の河井伸士さんをはじめ7人の理事、2人の監査の新任を提案しました。憲法改悪反対の声を、国民過半数にしましょう。など、5項目の2008年度

活動方針が提案されて、全員一致で承認されました。

竹内理事長から閉会の挨拶の中で、四川省地震への支援金の報告、大阪総領事館からの感謝状の紹介がありました。

総会後、参加者でお弁当を食べながら交流を深め、午後からは、「平和の波」に参加する折鶴の吹流しを作成しました。仙台の七夕祭りにもって行きたいようなできばえです。



## 中華人民共和国 駐大阪総領事館から感謝状



中国发生四川汶川大地震后，您弘扬“一方有难，八方支援”的精神，自发开展向中国灾区捐款解爱心，支援中国人民抗震救灾，体现出崇高的人道主义情怀。您的义举必将化作灾区战胜困难的信心和勇气，请写出灾区恢复家园的美好乐章。兹特致此函，谨向您致以崇高的敬意和谢忱！



### 感謝状

中国の四川汶川で大地震がおこってから、あなたは「困っている人がいれば、みんなで助ける」という精神を発揮して、すすんで中国の被災地に義援金を寄せ、愛の心をとどけ、中国人民が地震にめげずに被災者を救い出す力となり、気高い人道主義の心を具体化させました。

あなたのすばらしい行いは、必ずや被災地で困難に打ち勝てる信念と勇気を作り出し、被災地から古里をとりもどす名曲を歌い上げるにちがひありません。ここに一文をささげ、謹んで敬意と感謝の気持ちをあらわすものです。

2008年6月3日 駐大阪総領事館

## 第57回全国大会に参加して

### 曲がり角の大会運営

倉敷支部支部長 大森久雄

第57回大会に参加した。議案提案は情勢分析、運動方針の背景、深層に触れず平凡。

全大会の発言は一人5分で延々と続く。山形の帰国者の訴えは印象に残る。お国言葉とやや上気した口調が切々と胸に刺した。

小林さんが帰国者支援に果たした岡山の役割を簡明に述べられた。

全大会討論も、情勢を切り開く取り組みや開催地の活動紹介に重点を置くなど工夫せにや

と思った。

分散会では、倉敷支部の映画鑑賞、魯迅を読む会と大会運営の不備について発言した。

分散会のあり方、参加の仕方は説明されない。弁当を食べている最中、昨日のように着席せよと案内する。初めての参加者が3分の1といながら雑な運営に終始した。例年通りやっていた。知らぬ者が悪いといわぬばかりだ。

諸表彰後も賞状受け取りについては何もいわぬ。会場と受付



をウロウロした。夜の交流会。見事な太極拳の動きを、川の流れるようにはいかぬ調子はずれの歌声がじやまをする。余興とはいえ、あれでは演者に失礼ではないか。曲がり角の運営の大会に向いたようだ。

## 日中不再戦

### 7・7「盧溝橋事件」

### 71周年 街頭宣伝

◎ とき 7月7日(月)  
午後1時半

◎ ところ 天満屋

旧アリスの広場前

主催・日中友好協会岡山支部  
中国 残留孤児 訴訟岡山原告団  
(多数の参加をお願いします。)



# 私と日中友好協会

## 竹内先生を尊敬し

日中友好協会岡山支部 支局長 竹内和夫

いつのころからか、はつきり覚えていないのです。日中新聞を読み始め、季刊中国を読むようになり、嘉松先生に勧められたのか、竹内先生からはつきりしない。私が勤めていた(財)林精神医学研究所の顧問弁護士に嘉松先生が就任されてから、おつき合いが始まりました。ずいぶん昔の話です。共産党の候補者と言えれば豊田先生の時代です。その豊田先生

を支えてきた嘉松先生を尊敬して、いつも雪駄を履いて日中新聞、救援新聞を配ってくださる大学の先生、竹内先生には頭の下がる思いで眺めていました。林病院の多くの職員が、新聞の配達 集金をする大学の先生ということと尊敬していました。いつであったか、5、6年前であったか、嘉松先生が倒れ、入院されました。

竹内先生がやってきて、嘉松先生が入院したから、しばらくあな

たがやりなさい」と云われました。日中友好協会には、いろんな活動があるが、私は何もしてない。単なる読者にすぎないが、支部長になつてしまった。何も出来ないが毎月の理事会だけは出なければならぬと心得ています。そう云えば私も大連の生まれだ、生まれたところを一度はたずねてみたいと思つています。両親は中国人と仲良く暮らしていたという。敗戦から引き揚げまで、中国人がかけになり助けてくれたという。少しは中国語がわかるようになりたいと考えている今日この頃です。

2008, 6, 25

# チベット問題とは、なにか？

## —現場で本当に問題となっていることは、なにか？—

著者：大西 広(京都大学教授、日中友好協会常任理事)

6月20日(金)夜、医療生協コムコムホールで、2時間以上にわたって、表題の講演があり、約50人が参加しました。

大西さんが言いたいことを、まとめるのは不可能です。しかし、あまりにもひどいマスコミの報道は、暴動の本質を冷静に見る目を持たず、中国共産党の政治と民族政策に反感をいだかせ、民族対立をおおるものではないか。また、経済的、教育文化的な格差が、どこから来ているのか知らない、無責任な発言に注意すべきだと。たとえば、チベットから漢族は出て行け、と言つたら、日本人は北海道から出て行かねばならないだろう。イギリスとダライラマの独立宣言(1912年)を認めるなら、日本による「満州国建国」を認めねばならないと。

大西さんは中国語ができる経済学者です。チベット・ウイグルなど中国西部の経済・社会についての統計資料(配布)をもとに、足で歩いた経験を具体的な数字で説明し、中国政府が少数民族に対して行っている数々の優遇策と経済発展の歴史もたどりました。民族と民族とが仲良くするには、もつともとと真実を、と大西さん。

会場：サイン・セール チベット問題とはなにか? 現場からの中国少数民族問題  
08・6・25、かもがわ出版 竹内和夫

### 現場での

### 矛盾と本質に迫る!

### チベット問題とは何か?

経済問題としての

中国少数民族問題

著者：大西 広

発売：かもがわ出版

A5判 128頁

2008年 06月 25日

定価1260円

(本体価格1200円)

ジャンル「外国事情」



### 長岡日本語教室に 五月末からかわいい 受講者がきています。

原告団の一人である山根さんのお孫さんです。名前は、山根佳美といい、幡多小学校の三年生です。五月初旬に日本に来たため日本語は、あいうえおからの勉強です。明るい元気な子どもで、近藤先生のいいない指導で上達も早いです。今後の成長が楽しみです。

(小林)

### 孤児」訴訟に参加した原告のみなさんの近況を写真で紹介します!



万里の長城 左からお孫さん、鴨井さん、鴨井さんの娘婿 (仕事の関係で中国にいます)

中国残留邦人(残留日本人孤児・残留婦人)に対する国の新しい自立支援法が四月一日から施行されました。岡山県の「孤児」訴訟に参加した原告のみなさんは、これで老後の生活が保障され、中国(も

気がねなく行けると喜んでいきます。すでに鴨井さん、湯口さん、大森輝さんは、中国に行つてきました。山根さん、赤沢さん、佐々木さんは、現在中国にいます。高杉さん、大森卓さんは、七月から八月に掛けて中国へ行く予定です。また、六月十三日には、新支援法に基づく国民年金が満額支給(四月、五月分)され、裁判を起した成果を実感していると思えます。

原告のみなさんの近況を写真で紹介していきたいと思えます。今回は、中国(孫と一緒)旅行に行つた鴨井さんを紹介します。

### 七月十二日開催 「感謝の会」 参加要請行動

小林軍治

高杉団長と小生で六月十六日と十七日にかけて、県内の各政党事務所を訪問し、中国残留孤児岡山訴訟終結「感謝の会」のご案内」を持参して、参加の要請を行いました。

高杉さんは、対応した人々に日本語で、次のようなお礼のあいさつをしました。

「これまで皆さんに多くのご協力をいただいたこと大変感謝しています。新しい支援法が成立しみんな喜んでいきます。年金が満額支給されました。生活保護でない給付金が支給されました。これで老後が安心です。どうもありがとうございます。」

各政党とも誠実な対応で、参加も約束していただきました。

また、政党以外では、集会や街頭宣伝用の横断幕を用意してもらった県労会議、水餃子づくりを通しての交流が進む医療生協に同様の要請をしました。なお、連合岡山には、奥津弁護士長から参加要請を行いました。

次回の新聞送付作業は  
7月11日(金)午後1時半、  
民生会館2階で行います。  
前回お手伝いくださった方です。

葉林 和  
小林 和  
小竹 和  
稲竹 和